

マリモ展示観察センター

マリモ展示観察センターはチュウレイ島に位置しています。チュウレイ島は阿寒湖の最北端、チュウレイ湾に浮かぶ小さな島です。このセンターではマリモと呼ばれる非常にユニークで珍しい藻が展示されています。マリモとは緑色をした球体状の藻で、このような形は日光のバランスや綺麗な水、風や波の勢いなど特殊な環境下でのみ形成されます。

マリモと同種類の藻は世界の他の地域でも発見されていますが、その形は異なっています。現在、マリモが直径最大 30cm の球体まで成長できる環境が整っているのはチュウレイ湾だけです。湾内の優しい波がマリモを完璧な球体に育て、塩分を含む湖底の湧き水と湖面に差し込む日光がその栄養素となります。また、小さなマリモはキネタンベ湾の近くにも生息しています。開発に伴う自然破壊によりマリモの数は減少しており、阿寒湖のシュロコマベツ湾を含む世界中の多くの地域でマリモの生息域がなくなってきています。

マリモ展示観察センターでは、詳細な展示や水槽を見学しながらこの珍しい藻について多くのことを学ぶことができます。施設中央にある水槽はチュウレイ湾の湖底の環境を再現しており、レース状で繊維質のものから大きさの異なる球体状のものまで、マリモの成長過程を多種多様な面から観察することができます。

マリモ展示観察センターへ行くためには、マリモの里棧橋から出航している船に乗船します。チュウレイ島で乗降するまでには阿寒湖の観光スポットを見て回れます。また、船からは雄阿寒岳や雌阿寒岳が一望でき、遠くには美しい阿寒湖温泉を望むことができます。乗船中は、船内にある快適な椅子でゆったりと過ごしたり、デッキに出て景色を楽しめます。船のいくつかにはアイヌの伝統的な木彫りの装飾が施されており、始発便では、アイヌの音楽が演奏されています。

マリモの保全推進活動として、10 月には阿寒湖温泉街でまりも祭りが開催されます。祭りは湖に浮かべれた丸木舟の上で行われ、アイヌ語でトラサンペ（湖の精霊）とトカリブ（湖の創造物）と呼ばれる祈りと踊りが披露されます。